

I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策

園の教育方針や教育課程、幼稚園指導要領をおさえていかないと、指導計画の中の活動や援助の願いがわからないままに週案や日案を立ててしまうことになる。堀之内幼稚園は様々な活動を取り込みすぎて、一つひとつの活動の願いが何かおさえないままに行ってしまう傾向がある。活動の精選と願いをおさえることを丁寧に日案や週案におさえていく必要がある。

II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策

環境構成(再構成)に、もっと保育準備の時間を割くようにしたい。そのためにも行事、活動の精選や月間指導計画の中のどの部分を実際に行うのかについて、各学年、個人がよく検討する必要がある。

III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策

毎年言っていることだが、様々なこと一つひとつに対して、決めつけや独りよがりはいけない。研修や参考図書で学ぶという習慣、姿勢が大切である。

子ども一人ひとりを丁寧にみる、援助することと同時に、今特に本当に援助を必要としている子が誰か、また、集団としてどう援助するかという視点の研修をもっとしていきたい。

IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策

子どもとの信頼関係を作るためにも保護者への働きかけ、関係作りは大切。年中年長になると、直接顔を合わせるチャンスが減ってしまうため、必要に応じて子どもにメモを持たせて、成長を知らせたり、事務的電話連絡、体育教室等のお迎えの時に、簡単でも子どもの現状の伝達や把握をするようにする。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策

卒園生のその後については、幼小連絡会で年2回、その他は保護者から風の便りに聞くことしか現状では把握できないので、その情報を職員全体で正確に伝え合うようにする。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

忙しい保育の中で、研修時間はひねり出すしかない。改めて職員が集まった時だけが研修ではなくて、保育中に気がついたことを次に生かすことも研修の一つと考える。その小さな積み重ねが大切。

「外部アンケート」からの検証結果及び改善策